

徳之島町 町史編さん だより

第17号

令和6年(2024) 12. 20

『徳之島町史 通史編Ⅰ・Ⅱ』が刊行されました！

編さんだよりの刊行が長期にわたり滞っており、お詫び申し上げます。前回の刊行（2023.4月）からもうすぐで2年！ この間、『通史編Ⅰ・Ⅱ』を刊行しましたことをご報告します。



紙面のご紹介

図1-1 世界の「島嶼」環境との比較

第三節 戦後最高のヒーロー 朝潮太郎

徳之島が生んだ戦後、最高のヒーローは、相模原市出身の朝潮太郎（1924～2000）である。朝潮太郎は、戦時中、徳之島に疎らされた。戦後、彼は徳之島で暮らすことになり、徳之島の歴史に大きな足跡を残した。

朝潮太郎は、戦時中、徳之島に疎らされた。戦後、彼は徳之島で暮らすことになり、徳之島の歴史に大きな足跡を残した。

図1 第46代朝潮太郎（昭和34年）

見どころは

- ・オールカラーで、豊富な図版とコラム
- ・「くらし」をテーマとした斬新な章構成（通史編Ⅰ）
- ・「海からみた徳之島」の近世史を描く（通史編Ⅰ）
- ・戦後最高のヒーロー朝潮太郎伝など、徳之島町の個性あふれる歴史を描く（通史編Ⅱ）

『徳之島町史』全巻刊行記念シンポジウムを開催！

令和5年（2023）11月25日（土）、『徳之島町史』全巻（自然編・民俗編・通史編）の刊行と、奄美群島日本復帰70周年を記念したシンポジウムを開催しました。



▲徳之島のハブは大島のハブより強い！？をテーマにお話いただいた服部正策先生



▲「徳之島全図」の読みから、徳之島町の村のすがたをお話いただいた深澤秋人先生



▲「あるく・みる・きく」の方法でシマの記憶をお話いただいた町健次郎先生



▲先史・原史時代の島っちゃん「食」について、最新の研究成果をお話いただいた高宮広土先生



▲「学士村」の歴史と未来をテーマにクロストークをいただいた、皆村武一先生と福宏人教育長



▲約200名ものみなさまにご来場いただきました！おぼらだれん（ありがとうございます）

今後は、シンポジウムのアンケート結果もふまえ、『徳之島町史』で表現された新しい徳之島の歴史像をより多くのみなさまと共有・議論させていただけるような「場」をつくってまいりたいと思います！

次号では、その取り組みの1つ、『徳之島町史』の簡易版、『徳之島学へのいざない—とくのしま今昔—』をご紹介します！

発行：徳之島町誌編さん室

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918

徳之島町生涯学習センター3階（徳之島町郷土資料館内）電話番号：0997-82-2908

☆町誌編さん事業は、全国のみなさまから寄せられたふるさと納税の一部を活用しています。おぼらだれん。

